

(トップページ:<http://mylibrary.maeda1.jp/>)

(五大石油会社の業績比較:<http://mylibrary.maeda1.jp/SuperMajors.html>)

(ブログ「石油と中東」:https://blog.goo.ne.jp/maedatakayuki_1943)

マイライブラリー:0502

(注)本稿は 2020 年 5 月 7 日から 20 日まで 6 回に分けて「ブログ・石油と中東」に掲載したレポートをまとめたものです。

2020.5.24
前田 高行

ExxonMobil、BP、Shell3社は損失計上:五大国際石油企業 2020 年 1-3 月期決算速報

スーパーメジャーと呼ばれる五大国際石油企業(ExxonMobil、Shell、BP、Total 及び Chevron)の1-3月期決算が相次いで発表された。ここでは売上高、利益(総合、上流部門、下流部門)、売上高利益率、設備投資および石油・天然ガス生産量について各社の業績を横並びで比較するとともに各社の四半期決算の推移を検証する。

決算の詳細は以下の各社のホームページを参照されたい。

ExxonMobil:

https://corporate.exxonmobil.com/News/Newsroom/News-releases/2020/0501_ExxonMobil-reports-results-for-first-quarter-2020

Shell:

<https://www.shell.com/media/news-and-media-releases/2020/first-quarter-2020-results-announcement.html>

BP:

<https://www.bp.com/en/global/corporate/news-and-insights/press-releases/first-quarter-2020-results.html>

Total:

<https://www.total.com/media/news/first-quarter-2020-results>

Chevron:

<https://www.chevron.com/stories/chevron-announces-first-quarter-2020-results>

なお過去の四半期業績及び2010年から2019年までの通年の業績比較は下記レポートを参照されたい。

<http://mylibrary.maeda1.jp/SuperMajors.html>

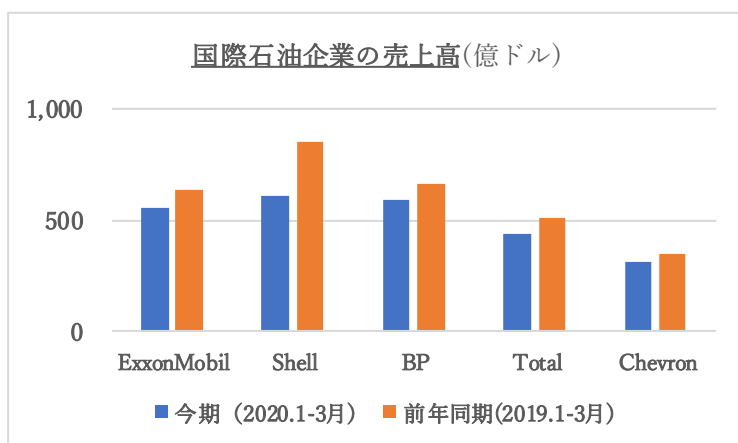
1. **五社の1-3月期業績比較**(末尾表 1-D-4-22 参照)

五社を横並びで比較すると売上高、下流部門利益及び天然ガス生産量では Shell がトップである。

一方、設備投資、原油生産量および原油と天然ガスを合計した生産量の各部門では ExxonMobil が、また総合損益、売上高利益率および上流部門利益は Chevron がそれぞれトップである。売上高は5社すべてが前年同期を下回っている。総合利益面でも Chevron を除く四社が対前年同期比で減少しており、特に BP の▲44億ドルをはじめ、ExxonMobil 及び Shell の三社は赤字に転落している。原油生産量では ExxonMobil がずば抜けて大きく、一方天然ガス生産量では Shell だけが100億立方フィート/日を突破しており他の4社を引き離している。

(全社が昨年同期比二桁の減収！)

(1) 売上高



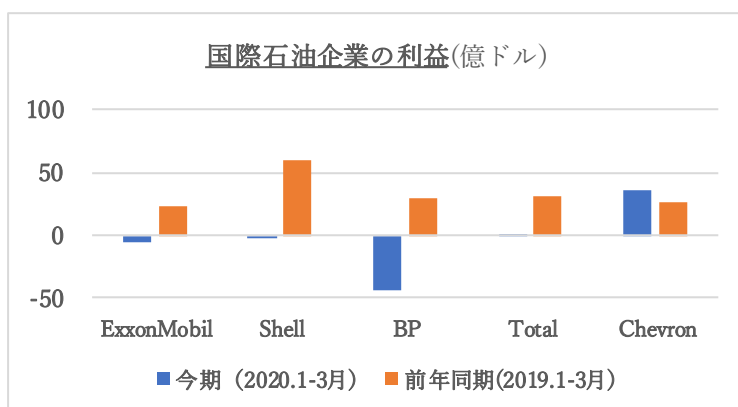
2020年1-3月の売上高は5社すべてで前年同期に比べ減収となり、特に Shell の減収率は30%弱に達した。原油・天然ガス生産量(後述)と原油価格を見ると、各社の生産量は前年同期に比べ Chevron、Total、ExxonMobil は若干増えており、BP も3%以下の減量にとどまっている。また原油価格については、昨年第1四半期のバ

レル当たり平均価格は WTI54.87ドル、Brent63.13ドルであったものが、今期はそれぞれ45.52ドル及び50.06ドルであり約20%下落している(Shell 決算資料による)。

Shell の売上高は原油価格の下落幅以上に落ち込んでおり、その他の会社の減収率は価格の下落幅を下回っている。原油価格の落ち込みをカバーする各社の戦略の差異が売上高の減少幅に表れたようである。

(堅実な Chevron、大幅な赤字の BP！)

(2) 総合利益



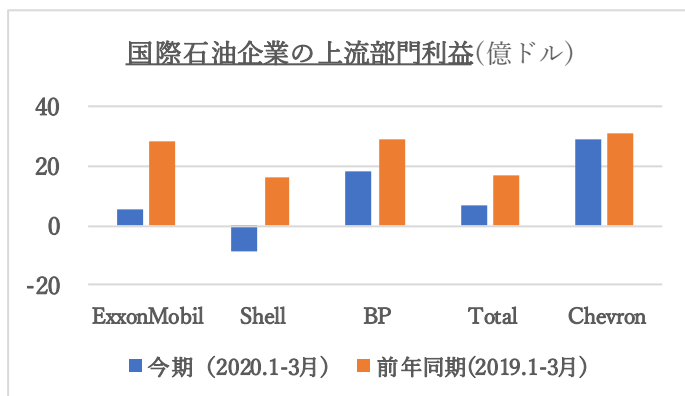
BP、ExxonMobil 及び Shell の3社は損失を計上しており、Total もごくわずかな利益にとどまっている。五社の中では Chevron のみが36億ドルの利益を出し、しかも前年同期比で36%の増益決算である。各社とも売り上げが二桁の減収であったが(上記参照)、利益面では前年同期がいずれも20~60億ド

ルの利益を計上しており五社の明暗がはっきりと出ている。

Total の利益は3,400万ドルにとどまり、前年同期比99%の減益である。Shell は前年同期に5社で最も多い60億ドルの利益を計上したが、今期は2,400万ドルのマイナスである。ExxonMobil は前年同期の24億ドルの黒字から今期は6億ドルの赤字に転落している。損失額が最も大きかったのは BP の▲44億ドルであり、その額は5社の中で飛びぬけて大きい。

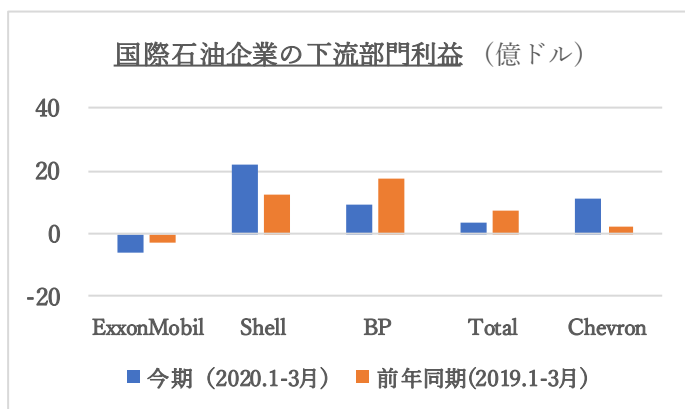
(上流部門は対前年同期比で全社減益！)

(3) 上流部門と下流部門の利益



利益を上流部門(石油・天然ガスの開発生産分野)と下流部門(石油精製および製品販売分野)に分けて比較すると、まず上流部門は5社いずれもが前年同期を下回っているが、今期マイナスとなったのは Shell1社のみでその他4社は利益を確保している。利益が最も多かったのは Chevron(29億ドル)であり、前年同期(31億ドル)をわずかに

下回っている。これに続くのが BP(19億ドル)であるが、同社の場合は前年同期比の6割の水準にとどまっている。このほか Total は前年比2分の1以下の7億ドル、ExxonMobil は5分の1の5億ドルであった。Shell は5社中ただ1社9億ドルの赤字を計上している。



一方下流部門の利益が最も多かったのは Shell(22億ドル)で前年同期比ではほぼ倍増している。これに次ぐ Chevron は11億ドルの利益を計上、同社は上流部門及び下流部門双方で好決算を出している。BP 及び Total はそれぞれ9億ドル、4億ドルの利益を出しているが、前年同期に比べるといずれも半減している。ExxonMobil は5社の中で唯一6億ドルの欠損を出している。同社は前年同期もマイナスであり、今期はその額が2.4倍に増加している。

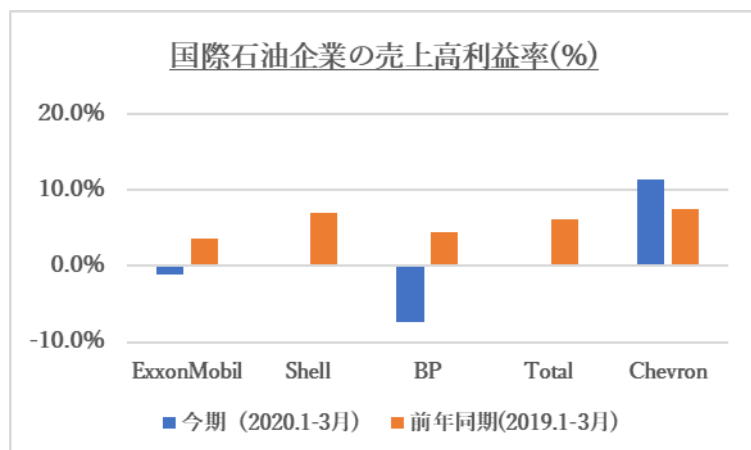
なお上記(2)総合損益は各社によって石油化学品部門あるいはその他の損益を含むため上・下流部門の利益の合計額とは一致しないケースがある。

なお上記(2)総合損益は各社によって石油化学品部門あるいはその他の損益を含むため上・下流部門の利益の合計額とは一致しないケースがある。

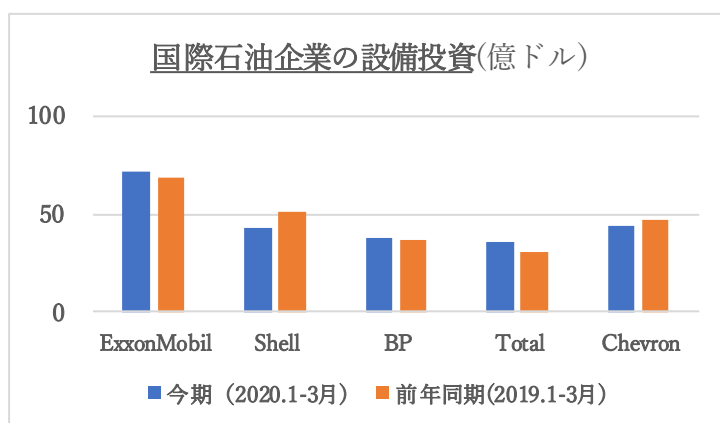
(4) 売上高利益率

売上高利益率は Chevron が11.4%と際立って高く、同社に次ぐのは Total 0.1%、Shell ▲0% (わずかながらマイナス) である。ExxonMobilの利益率は▲1.1%であり、BPは五社の中でもっとも悪い▲7.3%である。前年同期に比べると、良くなっているのは Chevronのみであり、その他の

4社は昨年同期の利益率4～7%から大幅に悪化、Shell、ExxonMobil 及び BP はマイナスに転じている。

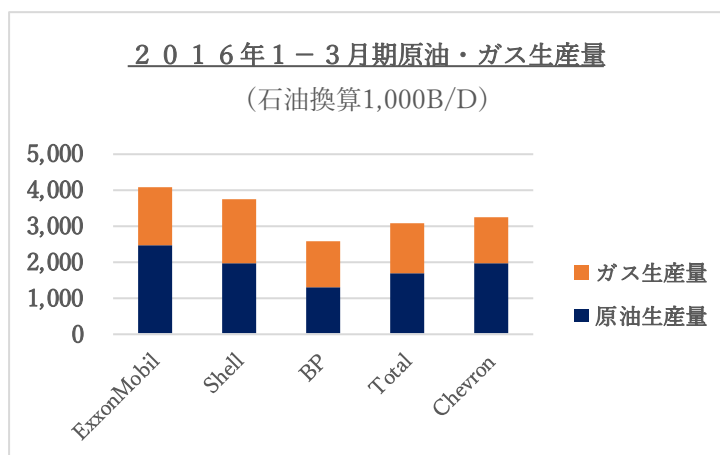


(5) 設備投資



2020年1-3月期の設備投資額が最も多いのはExxonMobilの71億ドルであり50億ドルを超えるのは同社だけである。その他の4社はいずれも40億ドル前後である。前年同期と比較すると Total は17%増、ExxonMobil 及び BP は横ばいである。これに対し Chevron は7%減、Shell は17%減である。

(6) 原油・ガス生産量(末尾表 1-D-4-22 参照)



今年1-3月の原油生産量はExxonMobilが平均日産量248万バレル(以下 B/D)で5社の中では唯一200万 B/D をこえている。その他の4社はいずれも200万 B/D 未満で Chevron(197万 B/D)、Shell(195万 B/D)、Total170万 B/D である。BPの原油生産量は5社の中で最も少ない131万 B/D で ExxonMobil の5割にとどまっている。前年同期と比較すると5社のいずれもが増加しており、ExxonMobil の増加率が最も高い(6.6%)。

天然ガスの生産量は Shell1社のみ日産100億立方フィート(以下 cfd)を超えている。第2位のExxonMobil は94億 cfd で、残る Chevron、Total 及び BP はいずれも70億cfd台である。前年同期比では Chevron は9%、Total も6%増加しているが、その他の3社はいずれも前年を5～6%下回

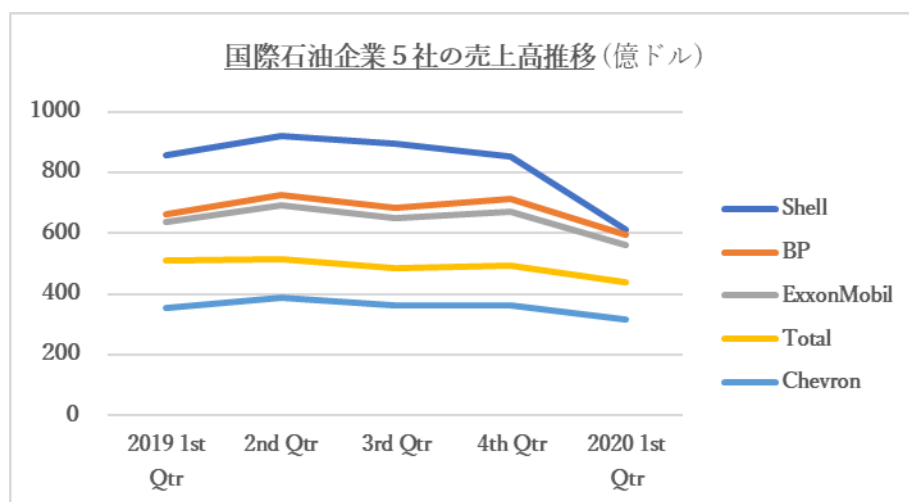
っている。

天然ガスを石油に換算した原油・天然ガスの合計生産量では ExxonMobil は405万 B/D でこれに次ぐのが Shell の372万 B/D である。その他の各社は Chevron 324万 B/D、Total 309万 B/D、BP 258万 B/D である。石油と天然ガスの比率を見ると、Chevron 及び ExxonMobil は石油61%、天然ガス39%であり石油が6割を占めている。その他の3社も石油の比率が天然ガスを上回っているが、Shell と BP は石油:天然ガスがそれぞれ52%:48%、51%:49%で石油と天然ガスがほぼ同量である。

2. 2019年第1四半期以降の四半期別業績の推移

五社の売上高、利益(全体、上流部門および下流部門)、設備投資、原油・天然ガス生産量に関する2019年1-3月期以降今期までの四半期ごとの業績推移は以下の通りである。

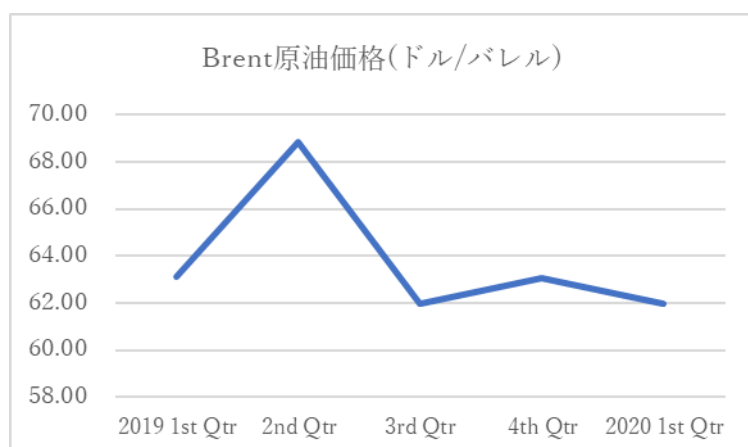
(1) 売上高の推移



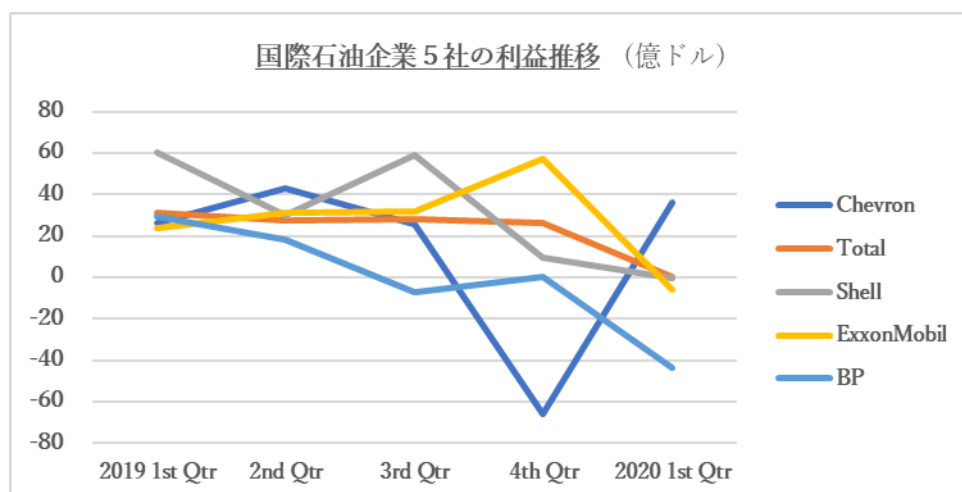
2019年第1四半期から2020年第1四半期に至る四半期ベースの売上高の推移を見ると、原油価格とほぼ連動して売り上げが上下している。昨年第1四半期の売上はShellが857億ドルであり、BPの663億ドルあるいはExxonMobilの636億ドルと約200億ドルの差があった。第4位はTotal(512億ドル)で、もっとも売り上げが少なかったのはChevron(352億ドル)であった。その後、第4四半期までは各社の売上格差に大きな変動はなかったが、Shellは昨年2四半期以降3期連続で売り上げが減少したため、他社との格差が縮小している。特に今年第1四半期のShellの落ち込みが激しく、1年前の7割の610億ドルにとどまっている。その結果、BPとの差はほとんどなくなりExxonMobilとの差も1割に縮まっている。

売上高が4位のTotalは512億ドル('19 1st Qtr)→512億ドル(2nd Qtr)→486億ドル(3rd Qtr)→493億ドル(4th Qtr)→439億ドル('20 1st Qtr)と推移し、また売上が最も少ないChevronは352億ドル('19 1st Qtr)→389億ドル(2nd Qtr)→361億ドル(3rd Qtr)→364億ドル(4th Qtr)→315億ドル('20 1st Qtr)と300億ドル台を推移している。

この間の Brent 原油の四半期平均価格(1バレル当たり)の変動を Shell の決算資料で見ると63.13ドル('19 1st Qtr)→68.86ドル(2nd Qtr)→62.00ドル(3rd Qtr)→63.08ドル(4th Qtr)→62.00ドル('20 1st Qtr)であり、昨年第2四半期に68ドルに高騰したが、その他の四半期は62～3ドル台で推移している。



(2)利益の推移



過去1年間の四半期ごとの利益水準は各社とも大きく変動している。昨年第1四半期及び第2四半期は各社とも利益を計上していたが、第3四半期以降は一部の会社に欠損が出始めるなど利益の減少傾向が見られ、特に今年第1四半期は5社中3社でマイナス決算を余儀なくされている。

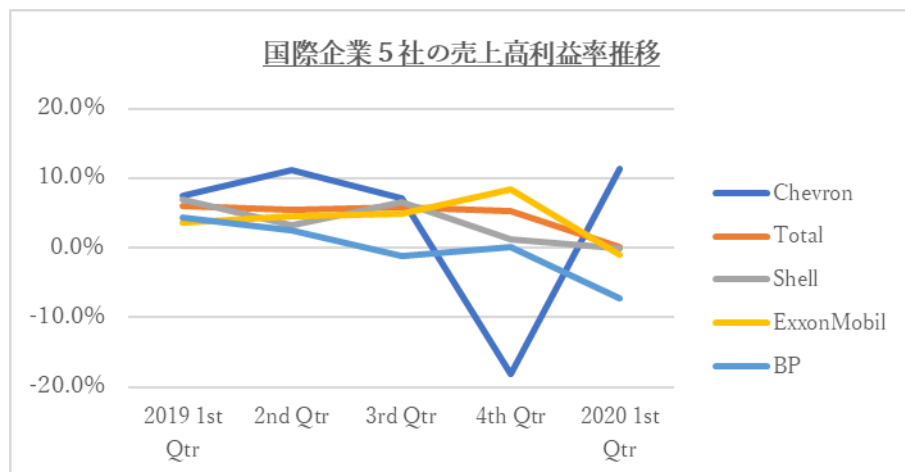
昨年第1四半期はShellが60億ドルの利益を計上したほかは、4社は30億ドル前後の利益でほぼ並んでいた。第2四半期にはShellが減益となり、Chevronと首位が入れ替わった。しかし第3四半期にはShellが再び利益59億ドルでトップを奪い返している。第4四半期になるとExxonMobilが利益トップになる一方、Chevronは66億ドルの損失を計上している。ところが今期(2020年第1四半期)は他社が軒並み欠損となったが、Chevronだけは前期から急速に業績を回復、36億ドルの利益を出している。

このように過去1年間の国際石油企業の業績は四半期ごとにトップが入れ替わる目まぐるしさであった。その一方でBPは昨年からの業績の悪化が止まらず、昨年第3四半期以降は水面下にとどま

っている状況である。

(3) 売上高利益率の推移

1年前の昨年第一四半期の五社の利益率はChevronが7.5%と最も高く、次いでShell 7.0%、Total 6.1%、BP 4.4%と続き、ExxonMobilは最も低い3.7%にとどまっている。Chevronは前期(19年第4四半期)に▲18.2%と大幅に落ち込んだが、それ以外は5社の中で最も高い利益率を示している。



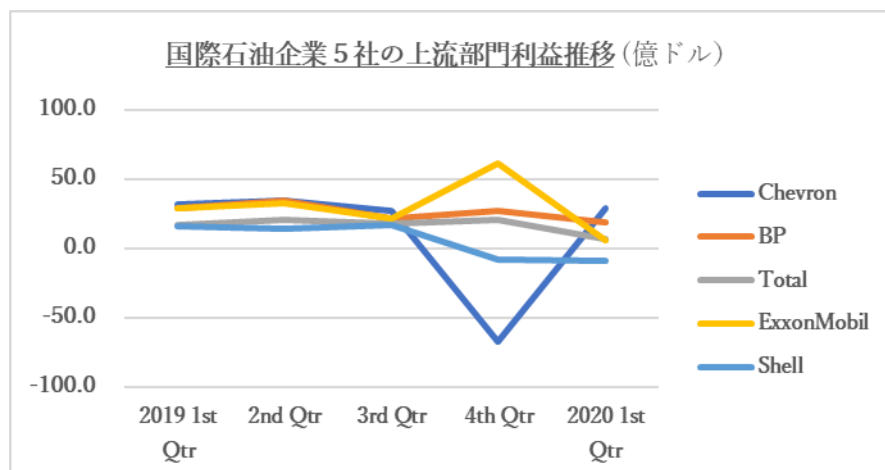
ExxonMobil、Shell および Total の利益率の推移はそれぞれ3.7%('19 1st Qtr)→4.5%(2nd Qtr)→4.9%(3rd Qtr)→8.5%(4th Qtr)→▲1.1%('20 1st Qtr)、7.0%('19 1st Qtr)→3.3%(2nd Qtr)→6.6%(3rd Qtr)→1.1%(4th Qtr)→0.0%('20 1st Qtr)及び6.1%('19 1st Qtr)→5.4%(2nd Qtr)→5.8%(3rd Qtr)→5.3%(4th Qtr)→0.1%('20 1st Qtr)であり、昨年第四四半期以外は3社の利益率は並んでいる。

5社の中で利益水準が最も低いのはBPであり各四半期の利益率は4.4%('19 1st Qtr)→2.5%(2nd Qtr)→▲1.1%(3rd Qtr)→0.0%(4th Qtr)→▲7.3%('20 1st Qtr)であった。

2. 2018年第1四半期以降の四半期別業績の推移(続き)

(4) 部門別利益の推移

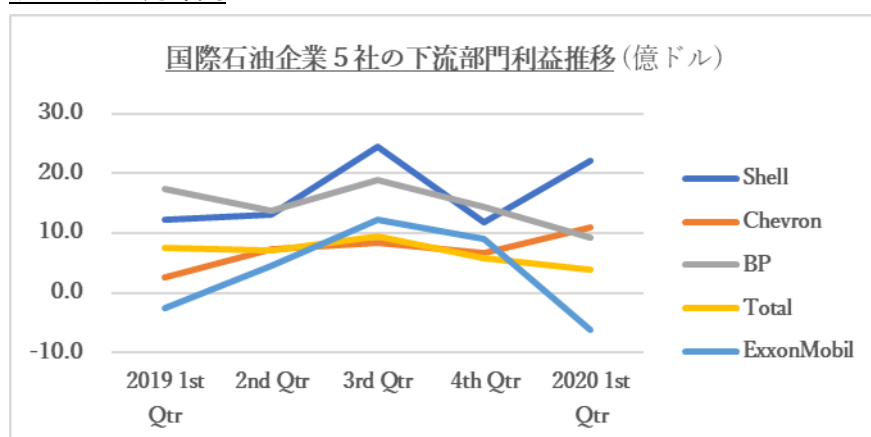
(4-1) 上流部門



前年の2019年第1四半期の上流部門の利益が最も多かったのは Chevron の31億ドルであり、BP、ExxonMobil の29億ドルがこれに続いている。Total の利益額は17億ドルで5社の中で上流部門の利益が最も少なかったのは Shell の16億ドルである。

続く第2、第3四半期は各社とも利益はほぼ横ばい状態であったが、第4四半期は大きく変動し、トップの Chevron が67億ドルという巨額の赤字を計上し一気に最下位に転落した。これに対して ExxonMobil の利益は61億ドルに急伸し5社の中で上流部門の利益トップに立った。しかし2020年第1四半期は Chevron の利益が急回復しトップに返り咲く一方、ExxonMobil は利益が一桁台の5億ドルに急減し、BP 及び Total を下回った。Shell は過去1年間上流部門の利益が低迷しており、前期、今期の2期連続でマイナスとなっている。

(4-2) 下流部門

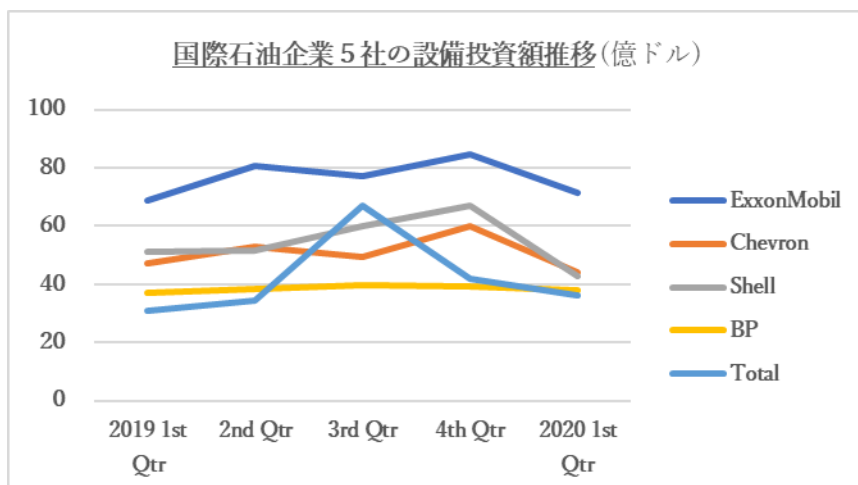


2019年第1四半期の各社下流部門の業績は17億ドルの利益を計上した BP をはじめ Shell、Total、Chevron 各社もプラスとなり ExxonMobil のみ3億ドルのマイナスであった。その後、第2四半期から第3四半期までは全社が利益を計上、特に Shell の第3四半期利益は24億ドルに達し、過去1年間では最も多くなっている。2020年第1四半期は明暗が分かれ Shell 及び Chevron が前期比増益となったのに対し、BP、Total 及び ExxonMobil は減益となり、特に ExxonMobil は5社で唯一損失を計上している。

過去1年間を通じて下流部門の利益変動が最も大きかったのは ExxonMobil であり、2019年第1四半期の▲2.6億ドルから4.5億ドル('19 2nd Qtr)→12.3億ドル('19 3rd Qtr)→9億ドル('19 4th Qtr)→▲6.1億ドル('20 1st Qtr)と落差が激しい。

(5) 設備投資の推移

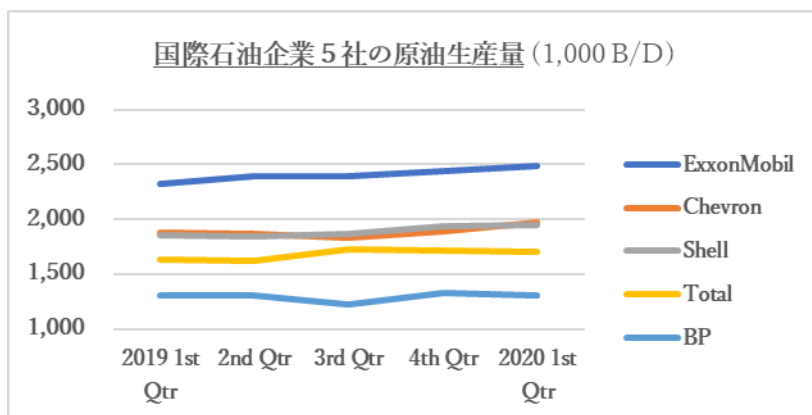
5社の四半期ベースの設備投資額は ExxonMobil 及び BP が每期ほぼ安定した投資を行っている。ExxonMobil の各期の投資額は69億ドル('19 1st Qtr)→81億ドル('19 2nd Qtr)→77億ドル('19 3rd Qtr)→85億ドル('19 4th Qtr)→71億ドル('20 1st Qtr)であり、全期を通じて常に5社で最高の投資を続けている。



同社に次ぐ投資を行っているのは Shell であり、その金額は51億ドル('19 1st Qtr)→52億ドル('19 2nd Qtr)→60億ドル('19 3rd Qtr)→67億ドル('19 4th Qtr)→43億ドル('20 1st Qtr)と推移している。Chevron の投資額は5社中の3位であるが、各期の投資は40億ドル～70億ドルの揺れ幅がある。Total は昨年第3四半期こそ ExxonMobil に次いで高い67億ドルを投資しているが、その他の四半期は40億ドル前後で BP と並び設備投資額は少ない。

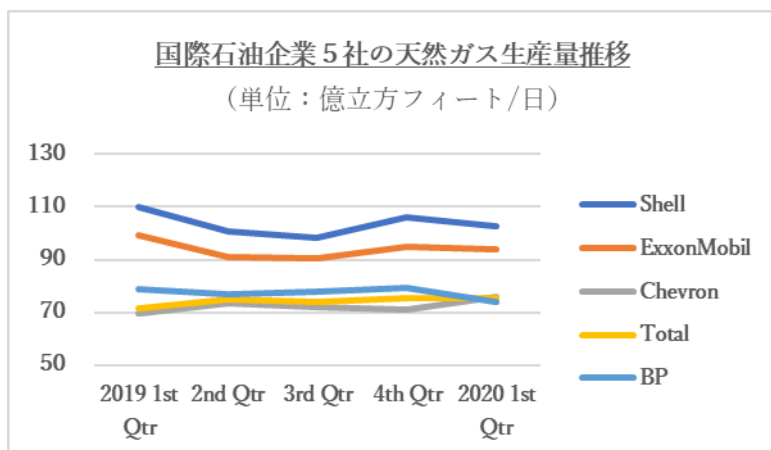
(6)原油・天然ガス生産量の推移

(6-1)原油生産量



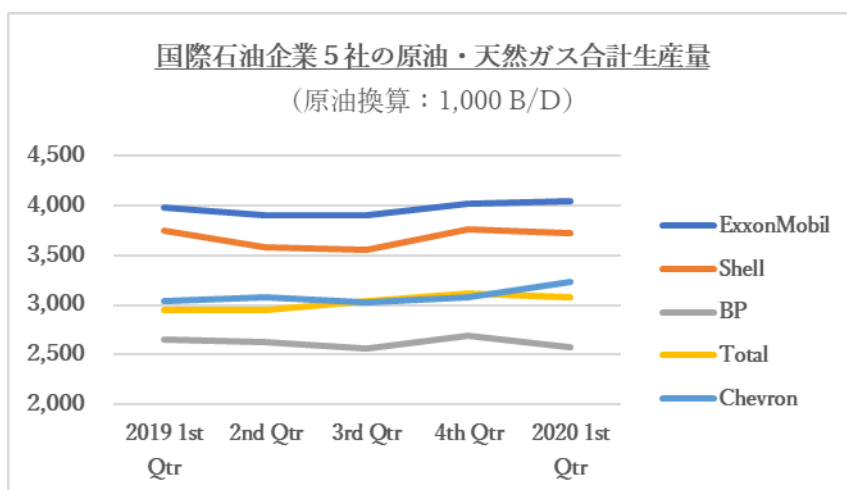
過去1年間の四半期ごとの原油生産量の推移を見ると ExxonMobil が他社を引き離して5期連続でトップを守っている。ExxonMobil の生産量は5社の中でただ1社200万 B/D 台を維持しており、しかも生産量は増加傾向にあり、今年第一四半期の生産量は248万 B/Dであった。ExxonMobil に次ぐ二番手グループは Shell と Chevron であり、両社の生産量は共に190万 B/D 前後である。両社も生産量は増加傾向にある。Total は2019年第 1 四半期163万 B/D であったが、現在は170万 B/D に達している。BP は5社の中で原油生産量が最も少なく1年前は130B/D でトップ ExxonMobil の6割であったが、その後も生産量は伸び悩み、今期は131万 B/D にとどまり他社との差は拡大傾向にある。

(6-2) 天然ガス生産量



天然ガスの生産量は ExxonMobil と Shell の上位グループと BP、Total、Chevron の下位グループの2極に分かれている。Shell の過去1年間の生産量は110億立方フィート('19 1st Qtr)→101億立方フィート('19 2nd Qtr)→98億立方フィート('19 3rd Qtr)→106億立方フィート('19 4th Qtr)→103億立方フィート('20 1st Qtr)であり、2019年第3四半期以外は100億立方フィートを超え5社のトップを維持している。ExxonMobil も Shell とほぼ同様の軌跡をたどっており、両社の差は10億立方フィート前後で推移している。他の3社は5期を通じて殆ど生産量に変化は無く70億立方フィート台を維持している。

(6-3) 原油・天然ガス合計生産量



天然ガスを石油に換算した原油・天然ガスの合計生産量の推移を見ると、生産量が最も多い ExxonMobil は石油換算で398万 B/D('19 1st Qtr)→391万 B/D ('19 2nd Qtr)→390万 B/D('19 3rd Qtr)→402万 B/D('19 4th Qtr)→405万 B/D('20 1st Qtr)である。これに次ぐ Shell は ExxonMobil よりも30万 B/D 前後少ない375万 B/D ('19 1st Qtr)→358万 B/D ('19 2nd Qtr)→356万 B/D('19 3rd Qtr)→376万 B/D('19 4th Qtr)→372万 B/D('20 1st Qtr)で推移している。

Chevron 及び Total の石油・天然ガス合計生産量は共に300万 B/D をわずかに上回る水準であり、最も少ない BP の生産レベルは260万 B/D 前後で ExxonMobil 或は Shell の7割弱である。

以上

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

2020年1-3月期国際石油企業の業績

年		ExxonMobil	Shell	BP	Total	Chevron
売上高(百万ドル)	2020年1-3月	56,158	60,959	59,650	43,870	31,501
	前年同期	63,625	85,662	66,321	51,205	35,200
	増減(%)	-11.7%	-28.8%	-10.1%	-14.3%	-10.5%
総合損益(百万ドル)(*)	2020年1-3月	▲ 610	▲ 24	▲ 4,365	34	3,599
	前年同期	2,350	6,001	2,934	3,111	2,649
	増減(%)	-126.0%	-100.4%	-248.8%	-98.9%	35.9%
上流部門損益(百万ドル)(*)	2020年1-3月	536	▲ 863	1,871	703	2,920
	前年同期	2,876	1,624	2,928	1,722	3,123
	増減(%)	-81.4%	-153.1%	-36.1%	-59.2%	-6.5%
下流部門損益(百万ドル)(*)	2020年1-3月	▲ 611	2,211	921	382	1,103
	前年同期	▲ 256	1,224	1,733	756	252
	増減(%)	138.7%	80.6%	-46.9%	-49.5%	337.7%
売上高利益率(%)	2020年1-3月	-1.1%	0.0%	-7.3%	0.1%	11.4%
	前年同期	3.7%	7.0%	4.4%	6.1%	7.5%
設備投資(百万ドル)	2020年1-3月	7,143	4,263	3,789	3,625	4,424
	前年同期	6,890	5,121	3,695	3,090	4,734
	増減(%)	3.7%	-16.8%	2.5%	17.3%	-6.5%
原油生産量(1,000B/D)	2020年1-3月	2,480	1,947	1,306	1,699	1,966
	前年同期	2,327	1,854	1,299	1,629	1,875
	増減(%)	6.6%	5.0%	0.5%	4.3%	4.9%
ガス生産量(100万 cfd)	2020年1-3月	9,396	10,275	7,387	7,560	7,613
	前年同期	9,924	11,007	7,872	7,167	6,975
	増減(%)	-5.3%	-6.7%	-6.2%	5.5%	9.1%
同石油換算(1,000B/D)	2020年1-3月	1,566	1,772	1,273	1,387	1,269
	前年同期	1,654	1,898	1,357	1,317	1,163
	増減(%)	-5.3%	-6.6%	-6.2%	5.3%	9.1%
原油・ガス合計生産量 (石油換算 1,000B/D)	2020年1-3月	4,046	3,719	2,579	3,086	3,235
	前年同期	3,981	3,752	2,656	2,946	3,038
	増減(%)	1.6%	-0.9%	-2.9%	4.8%	6.5%

* 総合損益には石油化学部門あるいはその他の損益を含むため、上流部門・下流部門損益の合計額とは一致しない場合がある。